

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として  
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療・保健・福祉を推進します。

八幡青樹会病院 季刊広報紙

平成19年4月1日 発行  
発行責任者 広報委員会  
地域連携室

# 青葉の風

第12号

連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

記録的な暖冬で始まった2007年も本格的な春を迎えました。あちこちで聞こえる春の便りに四季の移り変りの美しさを覚えます。今回も暖かな話題、元気の出る話題をお届けいたします。

\*\*\*\*\*

## 今年も獅子舞を迎えました。

作業療法士 坂口 景子



3月9日(金) 恒例の獅子舞が催されました。重要無形民俗文化財指定を受けておられる山本源太夫社中の皆様が、約1時間の総舞を披露して下さいました。天気も良く中庭にて患者様91名が、獅子舞や放下(ほうか)と呼ばれる曲芸、そして道化師と放下師が演じる万歳(まんざい)を観覧されました。万歳の滑稽な様子には笑いがおこり、最後の魁曲(らんぎょく)と呼ばれる曲芸では歓声も上がりました。魁曲とは獅子舞が人の肩に乗り、獅子の纏を着物のように見たてて踊った後、「おかめ」に変身するというもので、大変見ごたえがありました。終了後は、「頭が良くなるから」と獅子に頭を噛んでもらう人の行列ができ、患者様も職員も楽しいひと時を過ごしました。

## 平成18年度近江八幡市商工優良従業員表彰

総務課 土岐 亜矢子

去る3月27日、近江八幡市商工会議所主催の商工優良従業員表彰式が近江八幡商工会議所で行われました。永年勤続且つ成績優秀の従業員を対象とした一般表彰(永年勤続10年以上)に、当院より看護師3名、生活指導員1名、看護補助2名、事務員1名、計7名が表彰されました。

## 4月新就職者を迎えて

総務課 仲与根 智子



今春、20名が新社会人として財団法人青樹会に就職されました。配属は八幡青樹会病院事務員1名、作業療法士2名、看護師7名、生活指導員4名、看護補助2名の計16名、長浜青樹会病院看護師3名、看護補助1名の計4名です。新就職者の方々の今後の活躍に期待し、温かく見守っていききたいと思います。

## \*\*\*\*\* 精神保健福祉にまつわるQ&A \*\*\*\*\*

今回は、医療社会事業課で最近よく話題になっていることについてお話しします。

それは医療保護入院の保護者についての問題です。医療保護入院とは「医療及び保護のため入院の必要があるのに、精神障害のため本人が入院に同意できない場合、保護者の同意により入院していただくことができる入院形態」です。これは精神保健福祉法で定められた保護者の制度であり、保護者には原則として順次、本人の後見人又は保佐人・配偶者・親権を行う者・扶養義務者(直系血族又は兄弟姉妹等の3親等内)がなることになっています。その保護者が、死亡や行方不明、長期の入院、施設入所など、保護義務が行えない状態になった場合、保護者変更をして頂かないと、保護者不在となり、その間の入院は違法入院になります。そういった事態を防ぐため、当院としても定期的に保護者の確認をさせて頂いておりますが、ご家族様にも「保護者」の重要性を認識して頂き、保護者変更の必要がある場合には、随時当院までご連絡頂きますようお願いいたします。

## こころのエッセイ・・・ ガラス張り 診療副部長 石倉 佐和子

街をゆくと、新しい前面ガラス張りの美容室がよく目につきます。店の様子が一目でわかりますが、中の人が丸見えです。エプロンをかけて髪を切られている姿が通りすがりに見られるのは落ち着かなくはないでしょうか。全く平気か、かえって快感だったりするのでしょうか。昔の西欧の貴族は髪を結わせながら朝の謁見を行ったそうですが、大ぜいの人にかしずかれて世話をさせながら人に会うのには、特権的な気分を満足させるものがあるような気がします。現代では人がかまってくれ、世話をしてくれることがサービス業として成立し、たくさんの方が癒しを求めて訪れますが、そこには見られる要素も好んで取り入れられているようです。ネット上ではブログが花盛りですが、ここでも個人的な状況をあえて人目にさらすことが好まれております。自分を見てほしい、認めてほしいと思ったら、そのためには努力も人間関係もつきもののはずですが、ブログはそんな手間なしに手軽に見せる欲求を満たす一つの装置です。社会も家庭も遠ざけて自室だけにいても、自分の存在を確かめるために外に出て他人とのつながりを取り戻す必要はありません。パソコンの発行する画面の中に入りこめば、閉じこもったままでいくらでも表現でき露出できます。ひきこもった人に“ネットを見るな”、“家族とご飯を食べよ”、と芸もなく連呼しながら何かこの人達をおびき出す手立てのほしいこの頃です。

## 桃の節句、おひなさまを飾りながら 看護部 次長 青野 章

毎年、我が家では長女が生まれてから20年間、「お雛様」を押入れから出して、雛壇を組立て飾り付けするのは、なぜか私の役割になっていました。長女、次女共に大学へ進学し、やっとその風習が途絶えました。私はけっして嫌ではなかったのですが、毎年々々飾っているにも関わらず、学習能力のなさから、頭を悩ませていたのが段飾りの最上段、男雛（お殿様）と女雛（お姫様）の左右の位置でした。モデル写真と説明書きが違っていたためです。皆さんは、お殿様とお姫様の位置が、関東と関西の違いがあるのをご存知でしょうか。関東風は男雛が向かって左、女雛が向かって右になっています。これは昭和以降の並び方で、昭和天皇のご即位の時、洋装の天皇陛下が皇后陛下の右側、つまり向かって左に立たれた時の並び順に合わせたもので、現代はこちら向きが全国的に主流です。これは日本古来の「左上座」、つまり左側（向かって右）の上座に男性が居られるという考え方とは逆になります。京都は今でも昔の並びに習い、男雛が向かって右に、女雛が左になっているのが主流、昭和以前のアンティークのお雛様も、皆この位置関係に飾られるように作られています。我が家にあったお雛様は、関東・関西2種類の説明書が添付されていたため、20年間迷いつづけたという事です。そんな事を思い出しながら、今年も病院待合ホールにお雛様を飾らせていただきました。



## We Are Learning English at Day Care. (デイケアで英会話を学んでいます。)

デイケアのプログラムに英会話ができて、2年がたちました。私は、もともと英会話に興味がありましたが、本格的に日常的な会話を実践的に勉強する事は初めてでした。講師のマットのアメリカンジョークや体験談、そしてアメリカでの生活のビデオなどで楽しく勉強しています。また、



去年のデイケアのバス旅行でUSJに行き、たまたま日本で英語を教えているオーストラリアとイギリスの女性（キュートでかわいい！）と英語で話をする事ができ、短かい時間でしたが、楽しい体験をすることができました。これから、もっと回数を重ね、コマーシャルにあるような日本的英語から脱出し、ナチュラルで心から話し合えるようなシン（心）グリッシュになればいいなと思います。これからも楽しみにしています。 **デイケアの利用者 Johnny . S より**

\*\*\*\*\*  
皆さまからのご意見、投稿など募集しております。詳しくは広報委員会までお尋ねください。

八幡青樹会病院 広報委員会（地域連携室内）電話 0748-33-7104 FAX 0748-32-7725